2024 年度 地域安全学会春季研究発表会（中越） タイムテーブル（5/24(金)14:00-17:00）

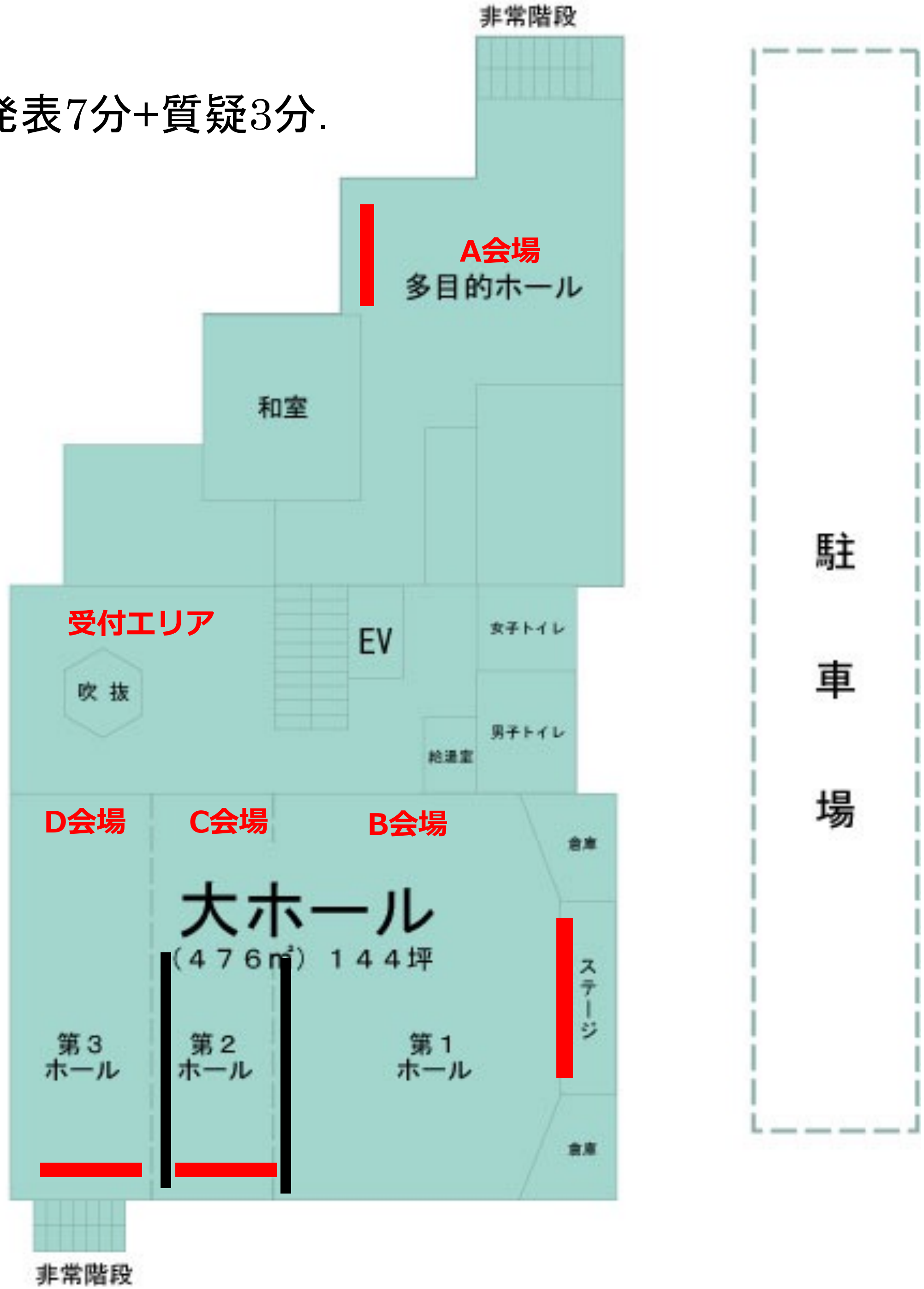
時間	A-1 会場:多目的ホール	B-1 会場:第1ホール	C-1 会場:第2ホール	D-1 会場:第3ホール
	司会:杉安和也	司会:益邑明伸	司会:佐藤翔輔	司会:佐藤史弥
14:00-14:10	A01:塩津 達哉, 有吉 恭子, 柴野 将行, 越山 健治 災害対策本部事務局の体制とデジタル技術の整備状況について	B01:松崎 圭, 村尾 修, 金山 佑真, 原野 泰典 2024 年能登半島地震後の金沢市避難所における運営実態と課題に関する研究	C01:山口 隼, 市古 太郎 震災火災時におけるスタンドパイプの有効活用方策について	D01:鈴木 崇伸 2024 能登半島地震の強震動の特徴
14:10-14:20	A02:南沢 修, 秦 康範 火山災害の総括支援チームの創設について	B02:松川 杏寧, 椎太 信, 有藤 里, 北村 美和子 LGBTQ 当事者への災害時支援の実践-能登半島地震を事例に-	C02:金 玟淑, 牧 紀男 逃げ地図づくりを活用した津波避難計画の策定手法の構築—和歌山県由良町小引地区を事例として—	D02:井上 晏菜, 山田 雅行, 羽田 浩二, 藤野 義範, 東 宏幸, 小田 義也 P 波初動部分を用いて推定したサイト増幅特性のばらつき
14:20-14:30	A03:落合 努, 朱牟田 善治 デジタルファブリケーションを活用した防災活動	B03:村尾 修, 目黒 公郎, 矢野 昭彦, 黒瀬 智恵, 角田 隆志, 薬袋 奈美子, 伊村 則子, 杉安 和也 NPO 法人地域防災推進機構における「防災勇士トリプルウィング」の制作と防災教育活動	C03:大津山 堅介, 近藤 民代 文献レビューによる事前復興計画論の再概念化と機能の抽出	D03:古川 大志, 高井 剛, 永田 茂 250m メッシュの地震動強度を用いた機械学習による建物の損傷推定
14:30-14:40	A04:小山 真紀, 髙木 朗義, 能島 暢呂 地域防災人材の育成と活躍の場づくり―清流の国ぎふ 防災・減災センターの事例から―	B04:髙井 剛, 古川 大志 能登半島地震発災後の災害情報の有用性に関する考察	C04:秋元 康男, 吉田 悠起, 中尾 健良, 狩野 貴史, 佐藤 翔輔, 今村文彦 レジリエンスの実現と標準化を見据えた防災備蓄手法に関する研究	D04:近藤 拓夢, 根本 豪己, 浅海 瑞貴, 加藤 美奈, 鈴木 俊博, 四井 早紀, 大津山 堅介, 廣井 悠 モバイル空間統計を利用した令和 6 年能登半島地震発生時の七尾市における住民避難行動−高台・避難場所等の有無および避難者の属性に注目して−
14:40-14:50	A05:宇野 宏司, 藤原 真優 兵庫県内の近代歴史遺産の自然災害被災リスク検証と今後の保全 活用に向けた防災・減災対策の現状と課題	B05:有吉 恭子, 柴野 将行, 北野 翔, 中本 健太, 越山 健治 災害時における安否不明者の氏名公表プロセスの実態—令和 6 年能登半島地震初動期における輪島市を事例として	C05:杉山 雄基, 米田 夏輝, 秋元 康男, 佐藤 翔輔, 今村 文彦 レジリエンスの実現と標準化を見据えた避難所におけるエネルギー収支等に関する実態調査～東日本大震災の被災地域を事例に	D05:細田 桃, 押尾 晴樹, 松岡 昌志 深層学習を用いた明治期の旧版地図からの低湿地抽出
14:50-15:00	A06:柄谷 友香 阪神・淡路大震災後 10 年における地元建設業の災害対応の 実態と課題 -東日本大震災の災害対応を迫られた同業者とのフォーカスグループインタビューを通じて-	B06:柴野 将行, 北野 翔, 中本 健太, 有吉 恭子, 越山 健治 令和 6 年能登半島地震時の初動期における輪島市災害対策本部の空間配置と運営	C06:藤本 慎也, 立木 茂雄 防災リテラシーの先有傾向と防災体験活動・支援活動への選択的接触に関する追補的分析:3 時点パネル調査データから	D06:熊﨑 康文, 岡田 愛梨, 笠原 幸治, 永井 信夫 RFID 管理による災害時流出 LP ガス容器のドローン探索
15:10-15:10	A07:山内 勇人, 佐藤 史弥 ヒアリング調査に基づく山梨県における救急車現場到着時間の延伸要因の検討	B07:青田 良介 令和6年能登半島地震災害から人口減少社会での減災復興を考える	C07:辻岡 綾, 有吉恭子, 柴野 将行 地震災害記録誌からの課題分析	D07:太田 和良, 近藤 伸也 公共土木施設災害復旧事業における土木行政による応急対応と課題
15:10-15:20	A08:谷 聡介, 洲崎 玉代, 久保田 玲子, 粟野 欧介, 中尾 創, 加藤 美奈, 鈴木 俊博, 四井 早紀, 大津山 堅介, 廣井 悠 モバイル空間統計を用いた令和 6 年能登半島地震における広域避難者の集計と類型化	B08:本荘 雄一, 立木 茂雄 過疎地域における持続可能な復興で重要な産業選定に関する定量的分析－令和 6 年能登半島地震における奥能登地域の事例から－	C08:紅谷 昇平, 清水 昭宏 自治体の受援力強化に向けた図上演習の事例報告:広島県における県・市町危機管理人材育成研修	D08:辻 翔平, 小泉 沙樹, 林 海希, 田中 聡 建物被害認定調査における調査員の損傷程度の判断に関する考察

休憩：15:20-15:30

※1 演題あたり, 発表 7 分+質疑 3 分.

時間	A-2 会場:多目的ホール	B-2 会場:第1ホール	C-2 会場:第2ホール	D-2 会場:第3ホール
	司会:柄谷友香	司会:松川杏寧	司会:大津山堅介	司会:鈴木崇伸
15:30-15:40	A09:湯瀬 裕昭, 鍋田 真一, 干川 剛史 防災と復興支援のための低軌道衛星インターネット Starlink の活用	B09:福本 晋悟 令和 6 年能登半島地震の初動特別番組でキャスターは何を伝えていなかったか	C09:松岡 あやめ, 梅本 通孝 流域治水プロジェクトにみる水害を対象とした事前復興まちづくりの取り組み	D09:鮫島 皓介, 加登 文学, 平子 遼 地形データの精度に着目した小規模河川の氾濫危険箇所推定に関する考察
15:40-15:50	A10:若木 望, 佐藤 翔輔, 今村 文彦 水害常襲地域におけるシビックプライドに関する基礎的研究	B10:吉田 悠起, 高林 萌, 米田 夏輝, 秋元 康男, 今石 佳太 令和 6 年能登半島地震における自治体間の支援体制に関する実態調査	C10:湯井 恵美子, 潮入 他充代, 澤田 雅浩 特別支援学校における潜在的減災力に関する研究 大阪府立支援学校における実践事例から	D10:杉本 満, 岩切 宗利, 藤原 匠 SfM/MVS を用いた被害認定に向けた住家の傾斜抽出
15:50-16:00	A11:中野 晋, 西村 実穂, 金井 純子 令和 5 年台風 13 号による千葉県内の幼保施設の浸水被害と保育継続	B11:岸江 竜彦, 寺田 誠 令和6年能登半島地震におけるブロック幹事県の活動体制について	C11:森保 純子, 立木 茂雄 コミュニティ支援と避難ダイナミクス可視化のためのエージェント・ベースド・シミュレーションモデルの開発	D11:山田 雅行, 羽田 浩二, 今井 隆太, 藤原 広行 動力学的断層破壊シミュレーションによる自発的破壊停止条件
16:00-16:10	A12:西村 実穂, 中野 晋, 金井 純子 令和 5 年 7 月豪雨による秋田市内の幼保施設の被災と保育継続	B12:洲崎 玉代, 久保田 玲子, 谷 聡介, 粟野 欧介, 中尾 創, 加藤 美奈, 鈴木 俊博, 四井 早紀, 大津山 堅介, 廣井 悠 令和 6 年能登半島地震における避難行動の自治体別特徴ー避難所の立地環境・孤立集落の解消・被災状況の観点から	C12:佐藤 翔輔, 今村 文彦 災害伝承施設の機能強化に関するアクションリサーチ:みやぎ東日本大震災津波伝承館を対象にして	D12:佐藤 史弥, 上野 幹大, 山内 勇人 南海トラフ地震の津波浸水域内の長期湛水リスク評価のための基礎的検討
16:10-16:20	A13:則竹 桃実, 四井 早紀, 大津山 堅介, 廣井 悠 大規模水害発生時の域内避難の場所として活用可能な民間施設種の検討—江東 5 区の民間施設を対象としたヒアリング調査からの考察—	B13:永末 圭佑, 小山 桜馨, 近 恵里奈, 高野 広海, 長谷川 聡, 加藤 美奈, 鈴木 俊博, 四井 早紀, 大津山 堅介, 廣井 悠 令和 6 年能登半島地震における, 被災地外人口流出入の動向の可視化-発災前後 1 ヶ月の地域外人口・県外人口と道路復旧状況に着目して-	C13:安藤 亜矢子, 紅谷 昇平 介護支援専門員等の防災対策と防災意識の現状と課題:兵庫県太子町での研修事例から	D13:四井 早紀, 小山 真紀, 阪本 真由美 2023 年トルコ・カフラマンマラシュ地震による室内環境被害の分析と評価
16:20-16:30	A14:楊 東昇, 越山 健治 2021 年 7 月河南省水害における避難行動の調査結果	B14:益邑 明伸, 荒木 笙子, 福田 崚 「能登半島地震 復興まちづくり支援マップ」の作成・公開と利用	C14:鍵屋 一, 湯井 恵美子, 山﨑 真梨子, 上園 智美 災害時における障害者の避難支援の現状と課題—東京都内障害福祉専門職への調査から—	D14:松岡 昌志, 大串 文誉 Sentinel-1 衛星による山口県上関大橋の段差事故のモニタリング
16:30-16:40	A15:杉安 和也, 大棒 秀一 岩手県宮古市田老地区における夜間避難訓練の取り組み その 3-自動車避難による避難体験プログラムの構築-	B15:池田 浩敬, 河村 信治 東日本大震災時の津波避難等に関する調査-岩手県野田村での事例-	C15:齋藤 知宏, 柴野 将行, 有吉 恭子 基礎自治体における重層的支援体制整備による防災部局との連携について	D15:石原 貴代 非常時に役立つ防災倉庫—3か所の防災倉庫の比較—
16:40-16:50	A16:三上 雄大, 佐藤 翔輔, 成田 峻之輔, 千葉 智史, 岡元 徹, 今村 文彦 ウェアラブル歩行型 VR を用いた津波避難行動分析ツールの試作	B16:金山 侑真, 村尾 修, 加藤 春奈 東日本大震災後の災害危険区域における土地利用の変遷に関する研究	C16:川見 文紀, 藤本 慎也, 立木 茂雄 ランダムサンプリング郵送調査とウェブモニター調査におけるリスク認知・防災行動項目の回答傾向	D16:藤原 宏之, 上杉 英一 応援職員を含めた業務運営体制構築過程の実態解明-輪島市の住家被害認定調査(第 1 次調査)を対象として-
16:50-17:00	A17:寅屋敷 哲也, 紅谷 昇平, 湯浅 恭史 災害後の中小企業支援施策の特徴整理 —東日本大震災以降の災害に着目して—			

会場平面図（3階）

※1演題あたり，発表7分+質疑3分.

時間	A会場（多目的ホール）	B会場	C会場	D会場
12:30	令和6年能登半島地震特別セッション			
13:30				
14:00	A1	B1	C1	D1
14:10	A2	B2	C2	D2
14:20	A3	B3	C3	D3
14:30	A4	B4	C4	D4
14:40	A5	B5	C5	D5
14:50	A6	B6	C6	D6
15:00	A7	B7	C7	D7
15:10	A8	B8	C8	D8
	休憩（15:20-15:30）			
15:30	A9	B9	C9	D9
15:40	A10	B10	C10	D10
15:50	A11	B11	C11	D11
16:00	A12	B12	C12	D12
16:10	A13	B13	C13	D13
16:20	A14	B14	C14	D14
16:30	A15	B15	C15	D15
16:40	A16	B16	C16	D16
16:50	A17			
17:00				
休憩				
17:15	総会(大ホール)			
18:45	移動			
19:00	懇親会